

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：知ろう・語ろう・やってみよう「古代のたたら製鉄」

事業者名：知ろう・語ろう・やってみよう「古代のたたら製鉄」

実行委員会（中核館：広島県立歴史民俗資料館）

住所：広島県三次市小田幸町122

TEL：0824-66-2881

FAX：0824-66-3106

HPアドレス：<http://www.manabi.pref.hiroshima.lg.jp/rekimin/>



広島県立歴史民俗資料館

広島県立みよし風土記の丘

連携事業者名：みよし風土記の丘友の会・三次地方史研究会・

全日本刀匠会中国四国支部

会場：広島県立歴史民俗資料館・みよし風土記の丘

事業期間：平成21年8月1日～平成22年3月14日

1. 館の使命と本事業の関係

当館は、「広島県の考古・歴史・民俗等の資料の収集、保管、調査研究、展示、学習支援活動等を行い、本県の歴史や文化に関する県民の理解を深め、教育・学術・文化の発展に寄与する（設置条例から抜粋）」ことを使命として昭和54年に設置された。

特に、当館の立地する広島県北部の特色である「中国山地の古墳文化」「たたら製鉄」「江の川の漁撈民俗」を3大テーマとして諸活動を展開し、中でも「中国山地のたたら製鉄」に関する企画展や講座等は、継続的に実施してきた実績があり、県民や地域の関心も高く、幅広く支持が得られる事業である。

2. 企画内容

①事業目的

わが国古来の製鉄技術を地域の人たちと連携して再現し、その技術の成り立ちを実際に体験することによって理解を深めるとともに、古代のたたら製鉄を生み出した歴史的背景を出雲と吉備の視点から考え、地域の歴史をより深く探求する心を涵養する。

②事業概要

- (1) 古代の中国山地の歴史的な性格とたたら製鉄の関連を整理する。
- (2) 古代のたたら製鉄の技術的検討
- (3) 模擬たたら製作と実験（ワークショップ）の公開
- (4) 古代の中国山地の歴史講演会の実施
- (5) 実験成果の整理と記録集の刊行

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

① たたら製鉄実験（ワークショップ）

日時：10月31日（日）10:00～16:00

内容：古代の製鉄炉の原理を再現した模擬製鉄炉で、市民参加による製鉄実験を行い、約100名の大人や子どもたちが古代の製鉄技術を体験した。

実験では、砂鉄約50kgと木炭約150kgを約5時間かけて製鉄炉内で燃やし、約9kgの鋼（はがね）の原料（鋳・けら）が生成された。



たたら製鉄実験のようす（砂鉄の投入）

② 講演会

第1回

日時：10月10日（土）14:00～16:00

講師：田中義昭（島根県文化財保護審議会委員・元島根大学教授）

演題：『出雲から見た吉備・中国山地』

概要：出雲の銅剣や銅鐸と中国山地の鉄文化の始まりなどをからめて、古代の出雲から見た中国山地の古代史の歴史的背景を考察した。

第2回

日時：11月14日（土）14:00～16:00

講師：間壁葎子（倉敷考古館学芸員・神戸女子大学名誉教授）

演題：『吉備から見た出雲・中国山地』

概要：吉備の弥生・古墳時代の特色と中国山地の関わりについて、日本書紀や出雲神話などとの関連で考察した。



講演会風景（第1回）

③ その他

事業実施期間中に、広島県立歴史民俗資料館で秋の特別企画展『古代の出雲と吉備の名宝』を開催し、中国山地の古代史を出雲と吉備との関連で展覧するとともに、中国山地の「たたら製鉄」の始まりについても資料を展覧し、事業との相乗効果を発揮した。

(2) 参加者の数

参加者人数 延べ 376人

内 訳：たたら製鉄実験（ワークショップ）	<u>78人</u> （小・中学生12人，高校生以上66人）
第1回講演会	<u>145人</u> （高校生以上145人）
第2回講演会	<u>153人</u> （高校生以上153人）

(3) 事業により作成した印刷物等

- 広報チラシ (A 4 版・両面 4 C・10,000 部)
- 記録集 (A 4 版・20 P・4 C・300 部)

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○新聞記事



30センチの塊に歓声
たたら製鉄学ぶ
三次で体験教室
砂鉄から鉄をつくる、たたら製鉄の体験教室が31日、三次市小田幸町の県立みよし風土記の丘であり、県内外の親子連れ約70人が、かつての製法を学んだ。

たたら製鉄研究に取り組み庄原市西城町の刀工久保善博さん(44)と写真左が指導。参加者は砂から磁石で砂鉄をより分け、古代と同じ仕組みの製鉄炉に炭と一緒に投入した。風を送りながら約1500度で4時間半熱し、30センチの塊ができる大きな歓声が上がった。

家族で参加した十日市小3年の江波太君(9)は「三次市は火山の岩石みたいにくて驚いた」と話していた。資料館などの実行委が、園内の県立歴史民俗資料館で開催中の特別企画展「古代の出雲と吉備の名宝」に合わせて開いた。

中国新聞(広島版)平成21年11月1日(土) 朝刊 地域(24・県北)面

○テレビ、関連誌等

NHK「ひろしまニュース645」

平成21年10月31日(土) 18:45~18:55 (約1分程度放送)

NHK「おはよう日本(ひろしまニュース)」

平成21年11月 1日(日) 6:50~7:00 (約1分程度放送)

4. 事業の成果及び今後の課題（参加者の意見を含む。）

地域の歴史遺産である「たたら製鉄」の失われた技術を、再現実験（ワークショップ）を通して体験的に学ぶとともに、講演会や指導者のトークなどによって、それが中国山地の歴史的風土のなかで育まれたことが、体験・講演・展示（支援事業外で実施）の三位一体で理解が深まったと思われる。

特に、ワークショップ当日は、参加者の積極的発言や参加者同士のディスカッションも多くみられ、アンケートによる満足度などからも今後の取組みの広がりや発展が期待できる。

『体験イベントでのアンケート抜粋』

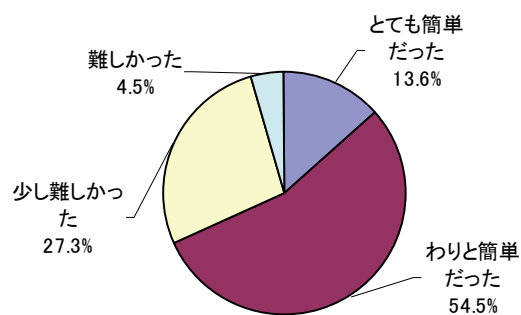
ワークショップの内容は？

No.	項目	件数	率
1	とても簡単だった	3	13.6%
2	わりと簡単だった	12	54.5%
3	少し難しかった	6	27.3%
4	難しかった	1	4.5%

〔コメント〕

作業が炭切り、砂鉄選別、投入などに限られたため、「わりと簡単だった」が54.5%と高率である反面、「少し難しかった」も27.3%ある。「わりと簡単だった」は大人、「少し難しかった」は小学生に多い。作業内容を大人と子どもで区別する工夫が必要である。

ワークショップの内容



ワークショップの満足度？

No.	項目	件数	率
1	たいへん満足した	17	70.8%
2	やや満足した	6	25.0%
3	ふつう	1	4.2%
4	やや不満	0	0.0%
5	つまらなかった	0	0.0%

〔コメント〕

「たいへん満足」(70.8%)と「やや満足」(25.0%)を合計した満足度は95.8%と高率である。天候（快晴）や鉄づくりの成功など全体にスムーズにイベントが進行したことも大きな要因と考えられる。

満足度

